

どうなる？ 双葉団地

阿部洋子ようこ 議員



双葉中央通り

問 双葉団地について伺う。お休み処事業の検討状況は。

健康福祉部長 自治会と相談したが、ボランティアの問題があり、見送らせてほしいとのことだった。

問 今年度予算に双葉中央通りの測量設計予算が計上されている。来年度、工事予算は確保されるのか。

建設部長 国道6号線側団地入口から久賀小通りまでの約150mを設計している。財政的に厳しいが、できるような形で努力したい。

問 団地内の歩道はどのようになっているのか。

答 車道と歩道を平らにして、白線によって区分するか、縁石によって区分して車に飛び込まれないように

するか、団地内でも意見が分かれている。よく協議をして、解決していきたい。

問 自治会やPTAから要望が出ている中央通りへの信号機設置は。

総務部長 取手警察署と連携し、要望したい。

問 商店会の活性化を。

まちづくり振興部長 高齢者や独居の方へ注文を受けたものを宅配する事業を行っている。これらを支援。

マイナスイメージから脱出！

貫井 徹 議員

取手ゆかりの童門冬二氏も、『内向き志向から脱出』と現在訴えている。取手市において自虐的な負の呪縛からの脱出が肝心だ。取手協同病院は、年間約47万人、うち市外から約23万人が利用、市内には54の医療施設がある。キヤノン・キリン

ビール・日清食品等の世界的企業群、世界に発信している東京藝術大学取手キャンパス、江戸川学園取手中

高等学校、聖徳大学附属中・高等学校の存在は、近隣自治体から垂涎的だ。来春はゆめみ野駅もオープン。

上野・取手間は特別快速で31分だ。産業誘致を含め積極的に取手市を全国に発信すべきと提案する。

市長 取手市は、情報の発

信をしつかりやっていけば、評価されるべきものは非常にたくさんある。これまで以上に、私自身、先頭に立ってPRしていきたい。

どうなってる？ 市職員退職金

細谷典男のりお 議員

問 市職員退職金の支給率について。

総務部長 退職金は、加入している茨城県市町村総合事務組合の条例等によって対応している。

問 59歳で普通退職した場合と定年退職を比べると比率が跳ね上がる。理由は。

総務部次長 普通退職は自己都合による退職、定年退職は定員管理の中の退職という形になっている。

問 勧奨退職は、普通退職と比べ10カ月の割り増しとなっている。民間で会社側の都合で辞めてもらう場合、割り増しというのは理解できず、市の場合、そういうことで勧奨になっているのかどうか。

総務部長 要綱の趣旨にのっとって対応している。

問 去年、市から辞めてくれと言った方がいるのか。

総務部次長 勧奨退職の場合、あらかじめ申し出て、定員管理の中で退職という形をとっている。

やめよ！ 詰め込み保育

加増充子かぞみつこ 議員



問 入所児童減少と財政難を理由に保育所を廃止してきたが、子どもは増えている。詰め込み保育をやめよ。

健康福祉部長 台宿保育所廃止後の状況を見ているが、詰め込み保育という認識はない。

問 8月からほとんどの保育所で年齢別の定員数を変えた。その根拠は。

答 国の基準に基づく受け入れ可能数と認識。

問 台宿保育所廃止の誤りを認めないために、詰め込みをしてきたのではないのか。

答 公立保育所の定数は1050人で、現在入っている児童数は969人である。

問 正規職員の退職後の補充を臨時職員で賄っている。正規職員の拡充を求めらる。

答 アクシオンプランの中で新規採用は難しい。臨時職員で保育水準を維持。
問 正規職員はこのままずっと採用しないのか。
答 今は緊急対応中だが、

計画的な採用は考えている。

野球や自転車 市を活性化

山野井 隆たかし 議員

1 26年前、取手二高が全国高校野球大会で優勝したことを生かして野球大会を企画し、交流人口の増加を図ってどうか。また、自転車を使ったサイクルアーツフェスティバルや取手蛭輪は、全国区の祭りに発展するベースである。まちづくり企画提案にあった自転車レースのアイデアもリンクして膨らませるべきだ。

2 まだ眠った取手の農畜産物・名産物がB級グルメイベントを利用すれば出てくるのではないか。その取り組みについて伺う。

3 取手駅前の暫定利用として、屋台村はどうか。

まちづくり振興部長

1 各種スポーツ団体と連携を深め、どの競技がそういったものに適するか検討する必要がある。市内全体が盛り上がる交流人口拡大策を検討していきたい。

2 取手商工祭などでも、商工会青年部を中心にB級グルメによるまちおこしの企画を展開している。市でも後援していきたい。

3 産業観光の面から、引き続き研究していきたい。

暗いぞ： 取手駅東口

金澤克仁かつひと 議員

取手駅東口は、送迎車両で長蛇の列ができ、混雑している。夜間、暗くなると、一般車専用の車寄せには電灯がないため、乗降時、非常に危険である。

この問題は、街灯の設置、駅前整備等々、市役所全体で解決しなければならぬ問題である。駅前のにぎわいを取り戻す観点からも、一般車寄せに街灯、アーケード内には電灯を設置すべき。

総務部長 取手駅東口は、平成14年に土地区画整理事業として完成した。ここは、電柱を地下に埋設してあるため、簡単に電柱をつけて、線を持つてくるわけにはいかない。しかし、現場も確認し、暗い印象を持っているので、検討を進めたい。



取手駅東口